

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2024年 2月 29日

事業所名 放課後等デイサービスポプラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			基準は満たしているが長期休みは児童発達支援の活動室を朝から使用できない為、活動内容の工夫が必要である
	2	職員の配置数は適切である	○			配置数は適切だが、担当が公休の際は、送迎や活動等が応援職員の対応になる為工夫が必要である
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートだけでなく直接話すことを意識して保護者と話し、意向を聞くよう努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人内外問わず研修に参加し、その内容を共有するなど業務改善につなげている	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもと保護者にとってどんな支援が必要かを考え話し合い支援計画書を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		ポプラでは実施していない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月どんな活動をしたいか担任同士で話し合い活動に取り入れている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児さんがやってみたいと思うものから経験をしてほしいと思うものまでその都度考えている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇時は土日は外、土日は中など活動にメリハリをつけている 土曜日は外出活動などを毎月1回以上入れ様々な活動を実施している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		全体ミーティングを実施 担任同士は当日が不在の場合は、連絡ノートや次の日等工夫をしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		自宅送迎の帰りのバスや、事業所に戻った後などお互いに報告し共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		気になったことをメモや記録に残し、上司に相談したり、保護者や学校に確認をしている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者から行事予定表をもらい、気になったことは適時学校担任に確認している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在対象児がない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		対象児が主に中高生の為、保護者の方や、相談支援事業所からの情報共有をしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			相談支援員を通じて必要な情報を提供している
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		法人内の事業所や、他法人の放課後等デイサービスとの関わりはあるが、今後交流をしていきたいと考えている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			今年度より運営だけでなく、担当職員も参加する機会を設けており、今後も続けていきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時の対面やノート、電話などを使って保護者と話す機会を意識して作っている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			懇談や保護者会等で、保護者の方への支援・助言を行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			こちらとして伝えられることはお話を伺い伝えている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会は適宜開催していて、保護者同士の連携を支援している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			事業所内で報告・相談し速やかに対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月に1回以上月カリやポブラ通信を発行し情報や活動内容を発信している
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			できるだけ伝わりやすい分かりやすい言葉を選び、必要に応じて視覚支援を利用し伝えている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ以降滞っているが、地域の方へ利用児童と一緒に挨拶に行かせていただいている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	職員は周知しており、様々な想定での避難訓練を実施している 保護者の方には必要な書面を配布している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	毎月、避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止委員会を実施し、職員に情報を周知・報告をしている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	現在対象児がいないが、身体拘束についての要件や書面の確認は実施している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在対象児はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	法人内会議での話し合い後、会議などで共有している内容の報告や、記録の確認を実施している	